

事務事業評価表

○基礎情報

課名		施設再編整備課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	63	公共施設の再編整備と適正な維持管理を進める	田邊 清秀	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				2 人	6 人	0 人	0 人	0 人	1,537 時間	21.3 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
公共施設の再整備完了件数	6件	3件	6件(累計)	-	7件(累計)	-

(評価の見方)

- ・S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・Z 未着手事業
- ・実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかったなし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	公共施設等再編整備基金事業	「公共施設整備・再編計画(改訂版)」に位置づけられている施設の再整備に必要な財源を計画的な積み立てにより確保する。	政策的事業				0.02	一般	443,000 ----- 442,735	基金の積み立て	基金の積み立て及び効率的な運用	基金の積み立て及び効率的な運用	S	
2	本庁舎跡地等周辺整備事業	本庁舎再整備後に分庁舎の執務環境を整えるため改修を行う。また、本庁舎跡地の整備等を行い、防災機能の拡充、環境負荷の低減及び緑の創出を図る。また、仮設庁舎跡地に民間活力を導入し効果的な資産運用を図る。	政策的事業	●			1.81	一般	133,477,000 ----- 111,441,800	本庁舎跡地利活用の進捗	本庁舎跡地の利活用に向けた検討	分庁舎改修工事の実施及び仮設庁舎跡地活用に向けたサウンディング型市場調査・市民意見交換の実施	S	
2-2								繰越	12,053,921 ----- 12,053,921					
3	公共施設整備・再編計画推進事業	耐震性や設備の老朽化などに課題がある公共施設の再整備の推進をする。	政策的事業	●		●	3.42	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	消防署小和田出張所建設ほか	消防署小和田出張所建設ほか	S	
4	建築基準法第12条に基づく法定定期点検の実施	公共建築物の安全性及び防災機能確保を図るため、建築基準法により点検が義務づけられた施設について、定期点検を実施する。	政策的事業				0.40	一般	6,593,000 ----- 6,588,000	法定定期点検等の実施	法定定期点検の実施	法定定期点検の実施	S	●
5	公共建築物中長期保全計画推進事業	施設利用者が安全かつ快適に利用するため適切な維持管理の推進する。また、施設の維持管理費用を把握し、計画的かつ効率的な予算執行を行う。	政策的事業	●			0.29	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	適正な予防保全の実施	適正な予防保全の実施	S	

6	公共施設等包括管理事業(提案型民間活用制度事業)	提案型民間活用制度を利用し、包括的に管理を行うことで、より効率的効果的な維持管理を行うことを目的とする。	政策的事業				0.42	一般	3,223,000 ----- 3,222,720	事業の進捗状況	保守点検委託の実施	保守点検委託の実施	S	
7	「建物維持管理の手引き」に基づく管理及び指導	「建物維持管理の手引き」の統一基準による建物の点検を行うことで、施設の長寿命化を推進する。	定例・定型的事業	●			0.29	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	維持管理点検の実施	維持管理点検の実施	S	●
8	管理支援システム等の運用	公共建築物の建物や敷地、営繕工事、中長期保全に関する各種データを統合的に管理・運用し、建物を適切に維持管理する。	定例・定型的事業				0.40	一般	2,778,000 ----- 2,777,173	事業の進捗状況	支援システム等の保守管理	支援システム等の保守管理	S	
9	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.16	一般	0 ----- 0	-	-	-		
10	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.80	一般	300,000 ----- 291,854	-	-	-		
合計							8.00		予算 146,814,000 決算 124,764,282 繰越 12,053,921					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>施設再編整備課の第3次実施計画の事業数は「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き8事業であり、すべて評価が「S」となった。</p> <p>全ての事業で指標の達成度80%以上を達成でき順調に事業が実施できたと考えている。</p> <p>職員の時間外勤務については、総時間で1,537時間、一人あたり月平均21.3時間である、昨年度と比べ半分以上に減っている。これは、新庁舎関連事業が完了したためである。しかし、文化会館改修や旧本庁舎跡地、仮設庁舎跡地等の事業を行うため、時間外勤務は高い水準にある。見直しを行い、時間外勤務を縮減を意識して業務を行っていく必要がある。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
4	建築基準法第12条に基づく法定定期点検の実施	平成28年度は法に義務づけられた特定建築物等21施設、類似用途の建築物8施設の定期点検を行った。点検の結果について施設管理者へ説明を行い、また、重要なものについては、現地にて説明を行った。点検の指摘事項については、改善の確認を行いながら、今後も建物管理の意識づけを行っていく。
7	「建物維持管理の手引き」に基づく管理及び指導	各施設に5月、11月の年2回「建物維持管理の手引き」に基づき点検を依頼し、その結果を提出してもらい公共建築物管理支援システムに取り込むと同時に営繕担当課と情報を共有していく。次年度の工事予算計上について点検結果も加味しが行った。ただし、現在の財政状況から老朽化の激しい施設や不具合が解消されない施設も多いことが課題である。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-